



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
45

光秀まつり

華やかな戦国絵巻



▲光秀まつりで騎馬武将として登場した光秀公

ひと口メモ

光秀まつりのあるこの日は、遠山氏の菩提寺である龍護寺で、光秀公の供養(仏事)が行われる。その際、年に一度この日だけ、寺宝として伝わる九条衣の袈裟(礼拝のとき床に敷く坐具のついた袈裟)が披露される。

明智光秀誕生の伝承がある地として、名将光秀公をしのいで5月3日に開催される明智町のお祭り。その歴史は1973(昭和48)年からを数える。ものものしくも華やかな戦国武将の衣装に身を包んだ現代版「光秀」の武将行列が、光秀ゆかりの史跡が残る町を練り歩く。行列は本物の火縄銃を携えた鉄砲隊を先頭に、光秀公らの騎馬武将や地元の小学生の少年が扮する少年武将行列、少女が扮する少女姫行列、最後の山車が続く。山車には、司葉子大正村村長が乗るほか、明智太鼓や火縄銃の実演も披露される。



▲明智文化センターと浪漫亭の間にある本石橋の上で披露される火縄銃の実演

ハナノキ

市の木指定の遺存植物

えな自慢
46



▲ハナノキの花

ひと口メモ

岩村町富田のハナノキは、独立行政法人森林総合研究所林木育種センター本所に、挿し木により養成したクローン2本が保存されている。樹形もよく元気に育ち、現在は3.0mから4.0mくらいまで成長しているとのこと。

ハナノキは、日本固有種で、長野県、愛知県、岐阜県、滋賀県の4県のみで自生するカエデ科カエデ属の落葉樹。ハナカエデとも言い、絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている。雌雄異株、新芽が吹く前に赤い花を咲かせ、これが名前の由来。岩村町富田のハナノキは、1922(大正11)年に国の天然記念物に指定された。この国指定の際には、同町出身の植物学者の三好博士が貢献されている。市内各所に自生地があり、三郷町亀ヶ沢のハナノキ自生地が県の天然記念物に、飯地町水汲場など7カ所の自生地が市の天然記念物に指定されている。2005(平成17)年、市の木に制定された。



▲国の天然記念物に指定されている岩村町富田のハナノキ

次号は4月15日号
発行日は4月15日(金)です

広報えな No.148
2011年(平成23年)
4月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111/☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』4月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.6円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム
(登録用QRコード)
市WEB版文字放送システム▶
(閲覧用QRコード)

口問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

